

とおちっ子

十市小学校だより第28号

令和6年11月27日

文責 藤川 尚司

四国造形教育研究大会

11月22日(金)に、本校を会場にして四国造形教育研究大会高知大会が開催されました。本会の開催に際して、保護者の皆様のご協力いただきましたおかげで、盛会裏に終えることができました。ありがとうございました。



四国内からたくさんのお客様をお迎えして、1年生と4年生、5年生が図画工作科の授業を公開し、授業研究を行いました。お客様に参観されるので、各学年の子どもたちは緊張するのではないかと案じていましたが、いずれの学級でものびのびと造形活動に取り組んでいました。

1年生は、山ほどのトイレットペーパーなどの芯に囲まれて造形遊びを、4年生は自分たちの作った色カードの鑑賞会を、5年生は箱に穴をあけたりセロハンを張ったりして、箱の中に取り入れる光を使って自分の世界を立体で表現する活動を、それぞれが紹介しました。

参観された先生方からは、各授業ともに工夫が凝らされ、子どもたちが生き生きと活動することができていると、高く評価していただくことができました。学校全体で子どもたちの発想や考えを生かした図工の授業づくりを進めたことを評価していただいたと受け止め、とてもうれしく思いました。子どもたちの思いのタネを大切にしたい授業づくりにこれからも努めていきたいと考えています。

本校でこの研究大会を開催するまでには、県内外の関係の方々にお力添えをいただけてきました。また、当日の大会運営には、多くの皆様のご尽力されました。紙面を借りまして、深く感謝と敬意を表したいと思います。



研究大会当日は、これまで子どもたちが作成してきた造形作品の数々を、ところ狭しと校舎内に展示いたしました。来校されたみなさんは、子どもらしい作品の展示に感嘆の声をあげて、食い入るように鑑賞されていました。



LINEでもお知らせしましたが、せっかく展示を保護者の方にもご覧いただければと思い、校舎東側入り口から入ってすぐの南北の通路の展示物を撤収せずに残しています。今週いっぱい、授業後の16:00~16:50は自由にご覧いただけます。なお、ご来校の際は、インターホンで職員室へひと声おかけください。